

穂高地域のお宝紹介！

①立足地域支え合いの会

②お寺体験ツアー「子どもの居場所を増やそう会2023」

穂高地域生活支援コーディネーター 嶋田真理

① 立足地域支え合いの会

- **どんな会？**

- ▶ 立足区（穂高地域の最北端に位置し、約550世帯が在住している）の福祉部が昨年10月に立ち上げた住民同士の支え合いの組織。
- ▶ 30分300円で、雪かき、ゴミ出し、簡単な修理、簡単な庭木の枝はらいなどを引き受ける。

困りごとが判明！ 解決に向けて...

● 経過

- ▶ 昨年度発表された、「白金地区支えあい制度の紹介」を参考にして立ち上がった。
- ▶ 令和4年6月に住民に向けて「ご近所支えあいアンケート」を実施して困りごとを把握。
- ▶ 雪かきやゴミ出しに不安に思っている方も多かったが...
- ▶ 耕作放棄地を住みかとしていた猿の被害が多発していることが判明！

(猿に出くわしてケガする人もおり、「何とかできないか」という声が...。)

- ▶ さっそく動物の住みかにならないように、耕作放棄地の整備に取り組むことに！
- ▶ 地元の有志、ボランティア団体、支えあいの会の支援会員の数十人で草刈りや木の伐採を行った。



今後に向けて

- アンケートで出た困りごとは、個人の困りごとだけではなく、**地域の困りごと**もあった。
- 自分たちが皆で出来ることから始める事が住民同士の支え合いの活動に繋がっていく。
- 活動報告も行いながら、支援会員も募集し、住民の困りごとの解決を図っていきたい。
- **まずは住民でできることからやってみようという気持ちで！**

②お寺体験ツアー

「子どもの居場所を増やそう会2023」

●経過

- 穂高南小学校のPTAの方から「子どもの地域での居場所が少なくなっている」という相談が社協にあった。
- まずは子どもの居場所になり得る「お寺」に注目し、協力をいただくことになった。
- 子どもだけでなく**保護者にも知ってほしい**という思いから、イベントを企画。
- 協議体でも同時期に子どもの居場所についてテーマがあがっていたため、アイデア出しなどで協力。

お寺体験ツアーを企画！

- 宗徳寺にご協力をいただき、1月4日に「お寺体験ツアー」を企画。
- 8組の保護者と子どもたち、合計22人が参加。
- 地獄絵図の説明や、木魚をたたく体験、伝統行事(お正月遊び)を体験した。
- めんこ、羽根つき、すごろく、たこあげ、カルタ、百人一首など...
- 「また来てみたい！」「お寺は部屋が広くて見通しがよくて安心ですね。」



今後に向けて

- 居場所を子どもだけでなく、保護者にも知ってもらおう。
- お寺に限らず、子どもたちの地域での居場所になり得る場所を探していきたい。
- 子どもと高齢者が交流できる「多世代交流の場」を視野に！
子どもと高齢者がまとめて元気になるように。